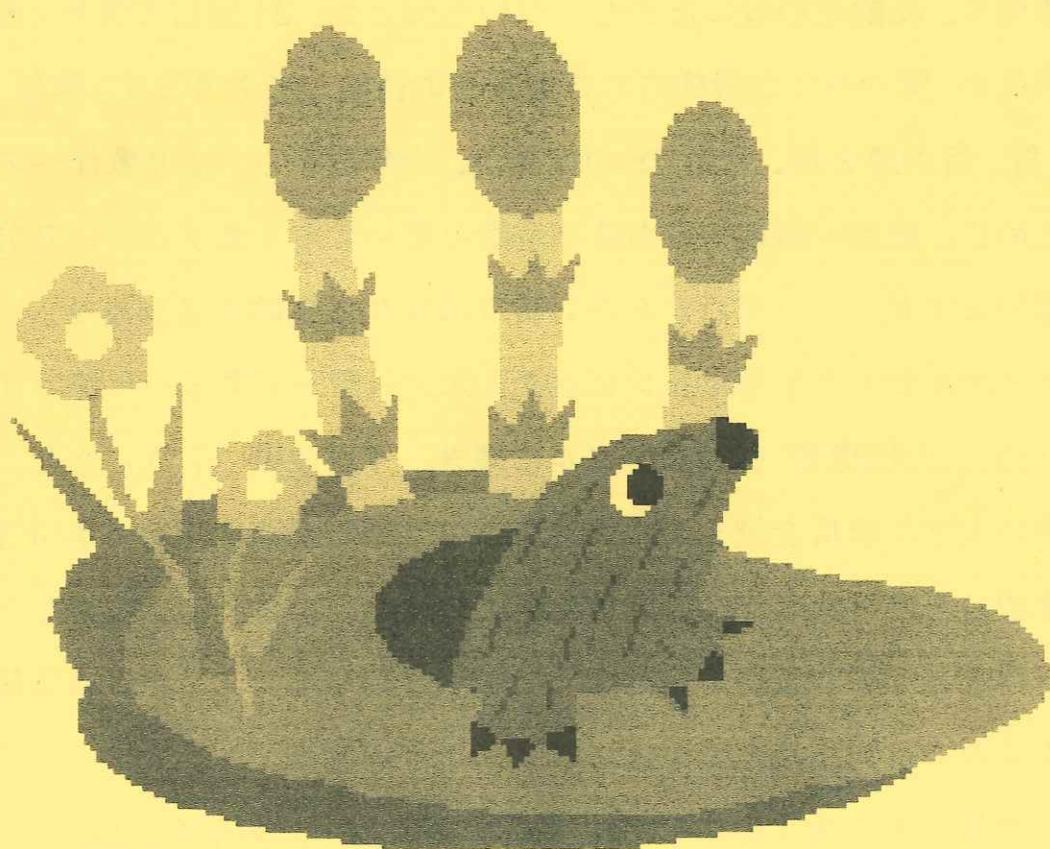


第24回鹿嶋市文化フェスティバル  
〔令和7年度文化協会発表〕

鹿嶋市文藝連盟 色紙・短冊展  
俳句・短歌・自由詩

会場 鹿嶋市立中央公民館 1階市民ギャラリー  
日時 令和8年3月3日(火)～3月8日(日)  
午前10時～午後4時(最終日午後3時)



主催 鹿嶋市・鹿嶋市文化協会・文藝連盟

## 第24回（令和7年度）

# 文藝連盟 俳句・短歌・自由詩展に寄せて

鹿嶋市文藝連盟会長 谷垣 恵美子

令和8年2月8日の、殊更に雪が真っ白に屋根を覆う、第51回衆議院戦では自民党は単独過半数（233議席）を大幅に上回る316議席を獲得した。

西村カリンさん「ラジオ・フランス」東京特派員は言う。高市早苗首相が選ばれたのを「夢売ったアイドル」と。政策の中身よりも、推しのムードで、のし上がり、掴んだこれからの、政権に不安も大である。高市政権は外交面でも「強い日本」を打ち出しているがトランプ政権を批判できない場合、国際社会の中で強い役割を果たすことはできないだろうと言う。強い外交を目指しているならば、日本も発言する覚悟が求められると。高市氏に期待したいと思う。

文藝連盟も、高齢化の波にあがなつつも何とか、24回目の俳句・短歌・自由詩の作品の、魂の叫びが皆様方のご観覧をお待ちしております。俳句14句、短歌62首、自由詩2篇、合計78の作品が、今年度から、より歌作へのご理解を得るために、俳句・短歌・自由詩の全様を書いておりますので、充分なご理解もと思いますが、どうぞわからない折りは係にご質問下さいませ。

ミラノ・コルティナ冬季オリンピック、スノーボード男子ハーフパイプで戸塚優斗（金）、山田琉聖（銀）、メダルに輝き、平野歩夢（7位）など、選手の笑顔の陰の大きな挫折を越えてなお挑む姿に、夢と勇気を頂いております。

文藝連盟のそれぞれの作品群・また同人誌ほか、小説、詩、歌集など会員に関わる資料をどうぞお気軽に手に取り御覧下さいませ。又、会員の募集も行っておりますので、何なりと受付係にお聞き下さいませ。

本日は会員各人の本年度中の成果作品の展示会に、お足をお運びいただき、誠にありがとうございました。

令和八年三月三日

番号	氏名	規格	題名	作品	備考
1	栗屋トク	色紙	一途に歩む	生きているただそれだけでいいのです 一途に歩む人の世哀し	鹿嶋短歌会
2	〃	短冊	〃	ひんやりと病の奥の寂しさか はがき一枚伝わる睦月	〃
3	青野榮子	色紙	寒い夜	寒い夜卓の上にコトコトと 白き湯気たて湯豆腐のあり	〃
4	〃	短冊	〃	風邪ひいて鼻水たれて咳コンコ 長ねぎさざみネギ湯を飲みぬ	〃
5	小川 高	色紙	椎の樹	椎の樹にへびが棲むと人の言う 小さき赤き鳥居の置かるる	〃
6	〃	短冊	〃	榎の木の天辺にカラスの親子棲む 夕暮れどきのさわがしかりき	〃
7	渡邊邦雄	色紙	無題	一服の清涼剤の心地する 遠くに聴こえるうぐいすの声	〃
8	〃	短冊	〃	大寒のバス停で待つ二十分 ひと苦労なり病院通い	〃
9	石津初美	色紙	登る太陽	法人会祈誓式へと神宮の 参道より見ゆる登る太陽	〃
10	〃	短冊	鹿嶋の歴史変え	アントラーズ鹿嶋の歴史変えて 九年ぶりの優勝果たす	〃
11	石津信三	色紙	継承叶え	亡き父の願いは継承叶えたり ひ孫の男の子春に誕生	〃
12	〃	短冊	〃	初雪に里帰り出産の孫迎え 白馬の置物床の間飾る	〃
13	濱口政子	色紙	侘助の花	侘助の寒さに負けず白き花 亡き友偲び 愛しきなり	三笠短歌会
14	〃	短冊	白銀の庭	朝目覚め 白銀の世界静けさの 中に白梅ほのかに匂う	〃
15	平野弥生	色紙	小泉八雲	図書館の秋の日ざしのさしこまぬ 窓辺にひらく小泉八雲	〃
16	〃	短冊	一日一首	新春に「万葉集」を一日一首 暗記すること思いつきたり	〃
17	大崎常夫	色紙	夢と明	この地球に夢夢夢を追い求め 夢の一つを掴みとるまで	〃
18	〃	短冊	〃	「明日はなし」と思えば今を元気良く 今日も十坪の菜園に立つ	〃

19	谷垣恵美子	色紙	許容の器	今年の桜いよよ爛漫に咲き満ちて 身をつつみくる 許容の器	むらさき短歌会
20	〃	短冊	千古斧	齡経て志を持ち進む我が道は 千古斧入るがに深き竹藪	〃
21	榎本麻央	色紙	あさがほ	夜が明ける前に仕事に向かう君 あさがほはまだ蕾のまま	〃
22	〃	短冊	犬の影	眼裏にパシャリと収むる犬の影 共にゆくなり秋の終はりを	〃
23	青木洋子	色紙	語らい	盆と暮れ仏壇の中掃除する 半年間の報告と語らい	〃
24	〃	短冊	プラネタリウム	刻々と変わる夕景星空は ひとりのためのプラネタリウム	〃
25	田口ひろ子	色紙	客の銘柄	タバコ買う客の銘柄聞き直す 遠い日たどる午後の店番	〃
26	〃	短冊	愛犬レオ	雨戸あげ愛犬レオが寄りて来る 頭なでなで朝のはじまり	〃
27	狩谷順二	色紙	春が来た	春来たり早咲き桜ほころびて 北浦越しに富士霞みたり	〃
28	〃	短冊	ここにも春	我が癌も術後十年過ぎたれば 卒業ですと医師微笑みたり	〃
29	根崎 彰	色紙	生あれば	あと五年過ぎて八十生あれば これより先は風に吹かれて	〃
30	〃	短冊	こころざし	こころざし有りや無しやと君に問う 卒業の日に尾崎豊が	〃
31	大橋角蔵	色紙	ドアノブに	責任を引き受けし日にドアノブに カエルの乗りて出迎えを受く	〃
32	〃	短冊	滑らせる	絨毯を何度も掃除機滑らせる 昨日のことを忘れるために	〃
33	木滝とよ子	色紙	一日も早く	拉致といふ思ひもよらぬ運命に 家族の願ひは日本の願ひ	〃
34	〃	短冊	心豊かに	マンネリな暮らしにもっと形容詞 工夫凝らしてこころ豊かに	〃
35	竹内 茂	色紙	スポーツの力	栄光の背番号3球史変え あの躍動感一挙主一投足	〃
36	〃	短冊	今日を生きる	錦秋に染まりし林なに思う 生き長らえて鹿嶋路を行く	〃

37	藤川タイ子	色紙	感謝の祈り	朝陽見て鳥のさえすりききながら 幸せな日々感謝の祈り	むらさき短歌会
38	〃	短冊	理想を求め	いざゆかん理想を求め歩む日々 希望を胸にせずしのばして	〃
39	高橋みはる	色紙	花みずき	咲き残る薄紅いろの花みずき 青葉隠れに(どうかみないで)	〃
40	〃	短冊	白さるすべり	暑すぎる夏もいつかは終わるよと 白さるすべり泡沫と散る	〃
41	大場 進	色紙	ひばり像	着物着て塩屋に立つるひばり像 居場所ははこと髪のを乱れを	〃
42	〃	短冊	場所ごとに	場所ごとに土俵を作る呼び出しは 十二小鉤の地下足袋を履く	〃
43	中沢えり子	色紙	アザミ	野に在りてアザミのノアザミチクチクと ワタシの棘がワタシに刺さる	〃
44	〃	短冊	小さな手形	正月の賑わい去りてパタパタと テレビ画面に小さな手形	〃
45	関根恵美子	色紙	秋刀魚	電車待ち二列に並ぶ目黒駅 ホームの足元秋刀魚のテープ	〃
46	〃	短冊	ネイル	昨日のゆううつ気分片隅に ネイルを塗り替え急ぐバス停	〃
47	生井沢晴美	色紙	偲	母の歌カセットテープに残されて 三十年を巻き戻しおり	〃
48	〃	短冊	生	潔く身を捨つるには紅椿 惜しい花なりもっと生きませ	〃
49	菊池智子	色紙	はんぶんこ	孫ふたり一本のチュロスははんぶんこ 笑顔になるよなかよしこよし	〃
50	〃	短冊	季節は移り	どこからか金木犀の香りする 季節は移り気がつけば秋	〃
51	黒川由美子	色紙	柳	柳の木ダラリとたれて死に体で 一風吹けばまた生きかえる	〃
52	〃	短冊	季節	高く澄む青空に秋感じる日 昔はあった春夏秋冬	〃
53	飯島春乃	色紙	許し合う事	「許し合う事が大事」耳に残る カーテン撫でるひとすじの風	〃
54	〃	短冊	真四角の空	山積みの書類とメール真四角の 空から見える雲になりたい	〃

55	大川恵士	色紙	心の距離	ありがとうその一言が言えないよ 心の距離は残り5センチ	むらさき短歌会
56	〃	短冊	母の歩幅	卒寿なる母の歩幅はせまかりき そっと手をとるネモフィラの丘	〃
57	久保栄子	色紙	ひぐらし	猛暑なか十二斗の梅干し終えぬ 戦なき世よひぐらしの鳴く	林短歌会
58	〃	短冊	こむらがえり	足つりて毎夜つらかり年老いて 立ちて歩めばやがてなおりぬ	〃
59	山上ふみ子	色紙	ウイグルの民	ブドウ棚の下に誘われウイグルの 民と踊りぬ夜風涼しき	〃
60	〃	短冊	トルファンの街	夜店ならび羊の頭焼かれている トルファンの街かけ声煙る	〃
61	石津萌花	色紙	男系誕生	祖母の願い二十六年餅奉納 夢叶いて男系誕生	しきなみ短歌会
62	〃	短冊	祖母に報告	母と共に産検診無事済ませ 祖母に報告経過安泰	〃
63	粟屋トク	短冊	無題	人あぶれ神も奢れる初詣	鹿嶋短歌会
64	〃	〃	〃	七草の粥のみどりのやさしさよ	〃
65	青野栄子	〃	クリスマス	ケーキ買う長き行列クリスマス	〃
66	〃	〃	師走	両の手に余る買い物して師走	〃
67	渡邊邦雄	〃	無題	春隣りふる里はなれ半世紀	〃
68	〃	〃	〃	ゆっくりと歩む坂道枯れ落ち葉	〃
69	平野弥生	〃	マフラー	マフラーに去年なる匂ひありたり	三笠短歌会
70	〃	〃	やぶかうじ	やぶかうじ明日の幸福つれきたり	〃
71	大崎常夫	〃	寒い夜	あつかんで心を燃やす寒い夜	〃
72	〃	〃	福寿草	ひだまりにひそやかに咲く福寿草	〃
73	久保栄子	色紙	筑波山	瑠璃色の浦に二峰の筑波山	林短歌会
74	〃	短冊	スイセン	浦岸にスイセン咲きぬ大寒日	〃
75	山上ふみ子	〃	終はり初物	ピーマンの終はり初物配るかな	〃
76	〃	〃	世界遺産アユタヤ	アユタヤの遺跡夏陽や像に乗る	〃
77	谷岡佐江子	額	詩の種	次ページ	鹿嶋市の会
78	〃	〃	時間	次ページ	〃

詩の種

谷岡佐江子

幼い頃 心に播いた  
一粒の 詩の種

種は 芽を出し  
花が 咲いた

時間は  
神の無限の愛の標である

先人はこれを  
継続は力なりと教えてくれる

時間

谷岡佐江子

時計は右回りに時を刻みます

人間は  
神の無限の愛の標として  
時間をつくりました

始めなき終わりなき  
宇宙です

時計は  
無限の時を刻んでおります

